

# 80年代を疾駆した「ギャル」 死語の見出し3

## ■新編集講座 ウェブ版 第50号 2016/4/15

毎日新聞社 技術本部長（元・大阪本社編集制作センター室長） 三宅 直人

この「新編集講座ウェブ版」では、これまでに、「消えた『アベック』」(第4号、2014年5月15日)、「ナウいヤングはどこに」(第23号、15年3月1日)と、「死語の見出し」を取り上げてきました。今回はその第3弾です。「アベック」とは「ヤング」男性と「ギャル」の交際で生まれる——そう考え、「ギャル」見出しを、主に1980年代の紙面から紹介します。

### ■ どんな人がギャルなの

「ギャル」は、英語の girl (ガール、「少女」の意) の俗語です。若い女性全般を指していましたが、後に派手な装いや奇抜な言動をする特定の女性を指すようになった、ともいいます。

今でも完全に死語というわけではなく、最近の紙面にも登場しています。社内の記事データベースで検索したところ、今年に入ってから、見出しとしての使用例がいくつも見つかりました。

ただ、最新例の「ビリギャル」=右図①=は固有名詞（この例では映画の題名）だし、「渋谷のギャル店員」=右図②=は、取り上げた人物の経歴を表現しており、少し距離を置いた使い方と言えます。

実際、1年ほど前には「どんな人がギャルなの？」という記事=右図③=が出て、「ギャルって何？」

という質問まで掲載されています。必ずしも「ギャル」の意味が社会に共有されていないようなのです。

### ■ 昔文化人、今ギャル

私が入社した 1981 年のころは、もっと普通に「若い女性」の代名詞として、「ギャル」が使われていたように思います。記事データベースを調べてみると、80年代は「ギャル」を見出しにした記事が山のように見つかりました。

86年の記事では、「昔文化人 今ギャル」=右図④=の見出しで、軽井沢の主役が文化人ら別荘族から「ハイファッションのギャル」に変わった、と記されています。ファッションでいえば、関西ではトラの毛を身につけることが、阪神タイガースファンの「ギャルのお守り」=右図⑤=になっているという 85年の記事もありました。

医療健康関係では、82年の「体育の日」に、女子大生が数十キログラムの缶詰をかつぐ「ヘルシーギャル力比べ」=右図⑥=がありましたし、世代別の献血者数をまとめた85年の記事では、「献血盛んな 10代ギャル」=右図⑦=の見出しがついています。この献血の例など、10代女性をひとくくりにして「ギャル」と表現していました。

驚いたのは、「テニスギャル2人死ぬ」=右図⑧=という、84年の自動車事故。テニスに向かう10代女性2人が亡くなった自損事故ですが、記事には職業が記されているだけで「ギャル」の文字は見当たりません。あえて「ギャル」を見出しにしなくても、と思います。

「ビリギャル」作者 坪田さんが講演 あべのハルカス

① 16/3/22 大阪版 下は記事の一部

映画「ビリギャル」の原作者で、学習塾「坪田塾」塾長、坪田信貴さんの

渋谷のギャル店員 アフリカで活動

② 16/1/27 朝刊 特集親子の読書 左は記事の一部

東京・渋谷のギャル店員だった女性が、世界各国を旅した末、アフリカで女性の手ももつ手に取り組むまでだった「渋谷ギャル店員」ひとりではじめたアフリカボランティア（金の糞せ）。現

③ 15/6/26 朝刊3面

「どんな人がギャルなの？」派手な女性のみ指すように 最近は多様化

なるほど「ビリギャル」という映画がヒットしているという問いにだけ「ギャルって何？」

昔文化人 今ギャル

10日に個人あや

軽井沢 別荘地から 流行発源地 1世紀

④ 86/8/7 夕刊社会面

⑤ 85/9/13 夕刊社会面

ヘルシーギャル力比べ

トラの毛、身につけ ニュートラン・ファッション

⑥ 82/10/11 朝刊社会面

10代 献血盛んなギャル

785/3/8 朝刊社会面 下は記事の一部

⑧ 84/8/27 朝刊社会面

テニスギャル2人死ぬ

10代ギャルの世界で初めて一命を落としたのは、昨年一年間の献血状況を示すグラフ、献血者数は約八千三百一十万人に達し、初めて全人口の七割を占めた。十六歳から六

■ 省エネも、労組も、ギャル

80年代の新聞を見て気づくのは、ファッションやイベントのような「軟らかい」記事だけでなく、政治や経済のような「硬い」記事にも、「ギャル」が見出しや本文に登場していることです。

たとえば84年の「省エネ運動 ギャルもひと肌」=右図⑨=がその一例。政府の省エネ運動のポスターに女性が初登場したことを取り上げていますが、見出しの「ギャル」はともかく、記事の「ピチピチギャル」は、今ならセクハラと言われるかもしれません。

86年の「ギャル労組員」=右図⑩=も興味深い記事です。先に解説しておく、見出しの「斜党」とは社会党（現・社民党）のことで、党勢が斜陽傾向にあることを「ピサの斜塔」に引っかけて皮肉った表現（つまり「傾いている」）ですが、「総評」（後に「連合」に合流し解散）の30歳以下の労組員アンケートを報じる際、記事でも見出しでも、女性のことを「ギャル」と表現しています。

■ 77年に初めて登場

この「ギャル」は、いつ紙面に登場したのでしょうか。記事データベースを見る限り、77年の「女性トリオ歌手『ギャル』デビュー」=右図⑪=が初出でした。当時私は京都在住の大学生。関西フォークに傾倒していて、アイドルはよく知らず、記憶にありません。

79年には「秋冬のヘアモードは『ギャル』」=右図⑫=というファッション記事が登場しました。読者になじみのない言葉だったとみえ、「ガールの俗語」「未婚の女性」と解説しています。

80年には、テレビ欄に「ラジオギャル日記」=右図⑬=というコラムが連載されました。普通名詞的に「ギャル」を用いた、たぶん第1号の記事だと思います。TBS ラジオのディスクジョッキー（司会者）が執筆者です。ちなみに同じ日のテレビ欄からNHKテレビの「ニュースセンター9時」を引用しました。キャスターは小浜維人さんと言えば、時代が分かるでしょうか。もっとも、大学生だった私は、下宿にテレビがなかったので、見たことはありませんが。

■ スタンドGAL

70年代後半に登場し、80年代に一世を風靡（ふうび）した「ギャル」は、90年代に入っても、「コギャル」=右図⑭=や「オヤジギャル」=右図⑮=のような派生形を生んでいきます。

実は私も、新人だった宇都宮支局時代、「スタンドGAL」という、チアガールの写真入り記事=右図⑯=を書きました。夏の高校野球の県予選、「選手だけでなく、応援風景も取り上げよ」というデスクの指示です。都市対抗野球のコラム「ギャルたちの球宴」=右図⑰=と同じ狙いです。

今なら不審者扱いされるかもしれませんが、当時は引率の先生もチアガールも協力的で、半逆光のアングルを狙ったり文章に凝ったり、大真面目だったものです。さすがに写真の再掲は控えますが、「心は日差しよりも熱い」など、今読み返すと赤面の至りです。

省エネ運動 ギャルもひと肌



⑨84/6/14 朝刊3面  
下は記事の一部

この「ギャル」は、ポスターに初めて女性が登場したことが重要。ベルンヤブ橋橋脚は強化しているのに、国民の省エネムードは低まっている。ピチピチギャルの助けを借りて節電を入れようという作戦だ。

斜党のギャル労組員ソッポ

支持17%だけ 自民が10%も

⑩86/2/19 朝刊3面

女性トリオ歌手「ギャル」デビュー

⑪77/10/24 夕刊芸能面  
左は記事の一部

なごり歌謡の女王として、デビューした。デビュー曲は「さくらんぼの歌謡」。デビュー前の歌手としてデビューした。デビュー曲は「さくらんぼの歌謡」。

秋冬のヘアモードは「ギャル」



⑫79/7/4 朝刊家庭面

秋冬のヘアモードは「ギャル」。ギャルのヘアモードは、未婚の女性のことだが、若々しいふんわり感をとり入れたヘアスタイルを「ギャル」。

ラジオギャル日記

⑬80/7/3 朝刊テレビ面

深夜放送で、よく聞かれる。ラジオギャル日記。ラジオギャル日記。ラジオギャル日記。

オヤジギャルと高金利

⑭90/12/1 朝刊社会面  
右は同じページの広告

「新語・流行語大賞」の「新語銅賞」に「オヤジギャル」が選ばれたことを伝える90年の記事です。生みの親で漫画家の中尊寺ゆづこさんは、残念なことに若くして亡くされました。脱線すると、同じページに載った、国債の広告（日銀）は驚き。利回り6.799%。マイナス金利の現在とは、隔世の感があります。年6.9%（応募者利回り年6.799%（税引前））

スタンドGAL

⑯84/7/18 栃木版

「ようし、あと1点よ」木々に囲まれたC球場。木洩れ日にチアガールの汗が光る。心は日差しよりも熱い。

ギャルたちの球宴

⑰83/7/25 夕刊社会面

コギャルに鼻の下がす

⑭97/6/3 夕刊芸能面

特別部門

⑮90/12/1 朝刊社会面  
右は同じページの広告